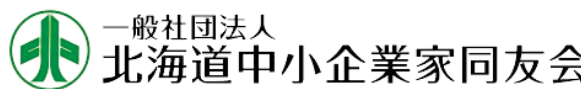


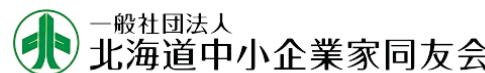
2026年度 活動方針案

2030ビジョンを共有し、実践する1年へ

一般社団法人北海道中小企業家同友会
代表理事 池川 和人



方針の概要



2026年度活動方針は
4つの柱で構成。
新たに「事務局づくり」
が加わりました。

1 | 企業づくり

2 | 経営環境改善と地域づくり

3 | 同友会づくり

4 | 事務局づくり

企業づくり

- 01 経営課題を克服するために、経営指針の成文化と実践、確立で企業変革を進めよう
- 02 「共に育つ」理念を深め、人材の定着・育成を進めよう
- 03 中小企業で働く魅力を発信し、選ばれる企業づくりを目指そう

経営環境改善と地域づくり

- 01 DOR（景況調査）の回答率を向上させて、会員企業の生の声を行政や関係団体に届けよう
- 02 中小企業振興基本条例の制定と活用を通し、行政や関係団体と協力して地域課題の解決を図ろう
- 03 地域の課題を自社の課題と捉えて地域づくりに取り組もう

同友会づくり

- 01 会員に寄り添った活動を創造し、未加入の経営者にも積極的に同友会を伝えよう
- 02 会員の経営報告とグループ討論で学びを深める例会をつくろう
- 03 第41回全道経営者“共育”研究集会in西胆振を成功させよう

事務局づくり

- 01 会員と事務局がパートナーとして共に育つ関係をつくろう
- 02 会員と事務局が互いに同友会理念を追求し、同友会運動を発展させよう

会員増強について

寄り添い、ともに価値を高め合う仲間づくり

01


各支部で、役員が中心となり訪問活動を推進

- ・ 会員の経営状況・要望を丁寧に聞き取る対話の強化
- ・ 会費改定の趣旨も共有し、同友会の価値を再確認

02


孤独な経営者をなくす仲間づくり

2027年3月末 会員数5,500名

 一般社団法人
北海道中小企業家同友会

2030ビジョン

地域に役立つ企業を目指し、
「共創」で自社の存在意義を
高めよう！

 一般社団法人
北海道中小企業家同友会

2030ビジョン


①企業づくり・・・ステップアップシート

②経営環境の改善と地域づくり

③同友会づくり

④事務局づくり

チェックシート

 一般社団法人
北海道中小企業家同友会

全道総会に提案予定の 定款の一部変更について


1. 提案事項～会費の改定

【現行】会費は一名につき月額5,000円とし原則として6カ月分を前納

【変更】 会費は一名につき月額7,000円とし原則として6カ月分を前納

2. 検討経緯

- ・同友会の活動を 将来にわたり安定的に継続・発展させるため、
数年来にわたり財務状況と運営のあり方を検証
- ・社会・経済環境の変化～物価・人件費の上昇、活動環境・運営コストの変化
- ・財務・法人運営委員会、理事会において段階的かつ継続的に議論
- ・同友会運動を次世代につなぐために必要と判断

 一般社団法人
北海道中小企業家同友会

提案予定の内容について

3. 提案内容

- ① 支部活動を支える財政基盤の強化
 - ・ 支部活動の充実のために、支部財政を強化
- ② 事務局員の処遇改善
 - ・ 昨今の物価高等を踏まえ事務局員の生活安定と将来の人材確保
- ③ 財政の安定と設備投資を含めた将来の活動に備える
 - ・ 経常費用の上昇、システムの再開発、財政基盤の強化

魅力的な同友会をめざして

より良い活動と地域づくりのために必要な取り組みとして、皆様のご理解を賜り、一層の活動強化にご協力いただきますようお願い申し上げます。